

教育実践部門報告（平成19年度地域連携事業を中心に）

塚野 弘 明

（2008年3月3日受理）

教員研修

- (1) 学校教育支援事業
 - ・学力向上などをテーマとし、教育学部教員が学校現場に出向いて現職教員を対象とした研修を実施
- (2) 教員のパソコン指導力向上研修事業
 - ・教員のパソコン指導力の向上を目的とした初心者、中・上級者に対する研修会
- (3) 教職経験10年者研修支援事業（全市町村）
 - ・夏期、冬期63講座に365名が参加
- (4) 小規模・複式学級指導支援事業
 - ・複式学級の手引き、DVDの作成、へき地研究会への参加などを実施
- (5) 体力向上支援事業（岩手県）
 - ・小学生の体力向上を目的とした教員研修に学部教員を派遣
- (3) スクールトレイニー事業（岩手県教育委員会）
 - ・岩手県教員採用試験合格者を対象に県教委と県内4大学との共同事業。教員の業務に対する理解を深めることにより、教員としての実践力を身につけるとともに4月からの教員生活へ円滑に移行できるよう採用前の不安を軽減することを目的とする。本年度は16名が参加している。
- (4) GSIP（教員研修留学生スクールメインテナンス・プログラム）（盛岡市）
 - ・教育学部留学生のインターシップ。英語の授業や国際理解教育への支援
- (5) 日本語教育支援事業（盛岡市）
 - ・盛岡市の外国人、帰国子女に対する日本語教育支援事業である。
- (6) 地域教育実習（4町村）
 - ・葛巻町、西和賀町、普代村の3地域に学生50名、教員11名が参加
 - ・小規模学校や複式学級での授業参観・研究会、子どもとの交流や地域についての学習などを実施。

学生派遣（実地教育）

- (1) ボランティア・チューター（滝沢村、紫波町、矢巾町、雫石町、北上市、盛岡市）
 - ・県内6市町村の小学校、中学校、高等学校に年間を通じて、学習指導、特別支援教育などの支援を目的として学部生、大学院生を98名派遣している。
- (2) スクールトライアル事業（岩手県教育委員会）
 - ・県教委と県内4大学の共同事業。学習指導、部活、行事など幅広い領域で学校支援活動を通して実践経験を積ませる目的で教員志望の1年生から大学院生を小・中学校、盲・聾・養護学校に派遣している。
- (7) フレンドシップ事業（2市町村）・野外体験教育、小学生パソコン指導などを実施。

生涯学習支援

教育学部出前講座

- ・花巻市に教育学部教員が出向いて一般市民対象の5講座を実施。

外部資金導入状況

助成金名称 研究題目 本年度金額（千円）

研究期間 研究代編

- ・地域連携事業費 初等中等教育支援事業
1,140 平成19年度 塚野弘明